

彼方「かなた」

校長通信
H30.4.16
Vol.3

【新入生歓迎集会で伝えなかったこと！】

十三日（金）に新入生歓迎集會が行われました。

生徒會を中心に一日の生活の流れや各部活動の紹介がありました。部活動紹介では、各部とも事前に一生懸命工夫し、一年生に是非入部して欲しいという気持ちで素直に伝わる発表でした。生徒會副會長の豊田さんから三つの伝統「あいさつ・歌声・清掃」に絡めて、「二、三年生の歌声を『My Own Road』に乗せて一年生に贈りました。「一緒によりよい白山中学校を作っていくましよう！」という生徒會の思いも伝わってきました。

私からは「自分で選択し、決めていくことの大切さ！」について次のような話をしました。

「白山中学校の学校教育目標は何ですか？『みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす』です。この言葉の中に直接書き込まれてはいませんが、とても大切なことがあります。それは『自分から』という言葉です。自分から動かなければみがき合うことも、支え合うことも、たくましく生きることもできません。そして『自分から』と



いうのが、三年生の進路実現の時に大きく関係してきます。小学校と中学校の大きな違いのひとつは、出口です。三年生になると

卒業後の進路選択という大きな決定を迫られます。

小学校は何もしなくても卒業したら白山中学校に入学できますが、中学校は何もしなければ、卒業して家にいるだけになってしまいます。いち早く社会人として働くのか、

進学するのかは、誰も決めてはくれません。自分で考え、選択し、決定していかなければならないのです。その時に適切な選択ができるように今から沢山練習して欲しいと思います。人生は『選択』と『決定』の連続です。

一年生のみなさんにとっては、委員会活動や部活動が、中学校に入って最初に『自分で選んで、決める』という進路学習になるわけです。なぜそれを選んだのか、何のためにそれをやるのか自分で考えて、自分で決めて、続けていくのです。そして、その活動を通して、誰かの役に立ったり、誰かを陰で支えたりする勉強をするのです。目標達成のために助け合い、協力し合って活動し続ける勉強でもあります。

また、部活動を選択するにあたっては、『友達が入るから』という理由も悪いわけではありませんが、自分でよく考えて三年間続けられる部活動を選んで欲しいと思います。」というアドバイスも生徒會の先輩からありました。続けるというのは、一日一日の積み重ねです。スタートとなる現時点で大切なのは、『興味を持たたか？一生懸命できそうか？』という



問いを自分に投げかけ、自分の中に選択基準を置いて選ぶことが大切なのです。『友達』という自分の外に判断基準を置かず、今なら一生懸命打ち込めると思う部活を選択することが、三年間続けられる部活になっていくのです。

『才能』とは結果ではなく、『好きなことをずっと続けられる力』だと言う人がいました。そう考えれば、みんなに『才能』が開花する可能性があるわけです。あきらめるぐらい続けられることが見つけられ、それを続けていると目が輝いてくる、自分の良さがみがかれていく、一年生にとってそんな活動が見つけられることを心から願っています。

最後に、それぞれ短い時間で工夫を凝らした発表をしてくれた二・三年生に一年生から大きなお礼の拍手を！そしてこの会を企画・運営してくれた生徒會執行部の皆さんにも大きな拍手をお願いします。ありがとうございます！

「自分で選んで、決める」というのは、その責任を自分でとるといことです。途中で苦しくなったら先輩や話せる人に「続けるための手立て」を相談し、それまでの自分と違う動き方を見つけて欲しいと思います。三年生の夏まで一日一日を大切に積み重ねて、「才能」を發揮していただくことを願っています。真剣に発表を見ていた一年生のこれからが楽しみです！

